

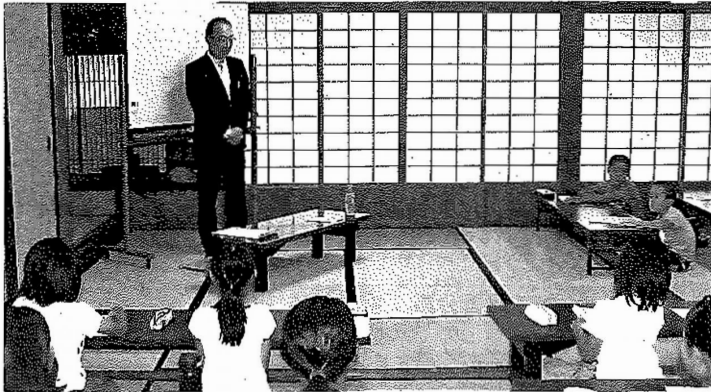
# 地域と学が

山形大学地域教育文化学部

山形大に赴任し13年目になります。その間、教育学部から地域教育文化学部になり、さらに地域教育文化学部になってからも2度の学部改革を経験しました。目まぐるしい変革の中で、学生の皆さんと共に地域からたくさんのご意見を学び、地域の中で学びを深めさせていただきました。教育学部時代から学生たちと一緒に参加している河北町国際交流協会主催のイベント「キラキッズ」と「スモールワールドフェア」は、今も多くの学生が参加し続け、小学生との国際交流活動から、ボランティアスタッフとして人をつなぐ間合いの習得や、子どもが学習

## 漢文学・漢字漢文教育 三上 英司 教授

▽1961年生まれ、北海道出身。  
山形大着任は2005年。



結城豊太郎記念館で今年7月に開いた「子ども論語塾」＝南陽市（同館提供）

## 老若男女と論語通じ交流

活動に集中できる支援の在り方を学ばせていただいています。さらに私自身はこの活動がご縁となり、河北町「ひなカレッジ」や永昌寺のご

本堂、そして村山市の深永寺のご本堂で、日本の文化や漢文学について、県民の皆さまに毎年あれやこれやお話しさせていただく機会まで頂戴し続けています。

そのような地域の方々のご縁の中でここ数年で新しく始まった学びに、南陽市の結城豊太郎記念館にお招きいただき、共に学ばせていただく「子ども論語塾」

「風也塾士規七則を学ぶ」「大人の論語教室」があります。恩師である高木重俊北海道教育大名誉教授から学んだ「論語」の読み方を老若男女を問わず、多くの市民の皆さまと今も繰り返し学び直すことができる幸せを毎回頂戴しております。

「学びて時に之（これ）を習う。亦（また）説（よろこ）ばしからずや」を実感しながら日々を過ごすことができるありがたさを山形の方々には私に与えて続けてください。

11月1回掲載します